

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 1 日

事務事業名		学校給食センター施設維持管理事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020101000399
						単独/補助	単独		090201
政策体系	総合計画の施策名		0201 学校教育の充実				所属課		桜川学校給食センター
	政策名		02 生きがいを育む学びのまちづくり				課長名		
	施策名		01 学校教育の充実				グループ		学校給食グループ
	手段名		01 ①教育内容の充実				担当者名		
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	01	04	02	00	学校給食センター事業		
法令根拠		学校給食法、学校給食衛生管理基準、桜川市立学校給食センター条例、桜川市立学校給食センター管理規則、桜川市立学校給食センター運営規則							

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<ul style="list-style-type: none"> 学校給食センターの業務を円滑に運営するために必要な施設の維持管理を行う。 主なものは、施設・設備の故障や不具合の修繕、保守点検等業務委託 (清掃・夜間警備・消防設備点検・受水槽維持管理・厨房排水処理施設設備維持管理・電気工作物保守点検・鼠族害虫駆除・調理器具等ふきとり検査・調理室内エシパーター点検・ボイラー維持管理・厨房機器保守点検)。 	<ul style="list-style-type: none"> 故障や不具合が発生した場合、現状を確認後早急に対応する。業者に依頼した場合には作業後の状況を確認する。費用が発生する場合には支払い手続きを行う。 施設設備保守点検等に関する業務委託の契約締結を行う。仕様通りの業務遂行がされているか監督し、仕様を満たす業務がされているれば契約金額の支払い手続きを行う。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
学校給食センターの施設維持管理のために、必要な業務委託契約締結事務及び施設設備が常に正常な状況で行われるよう細心の注意を払い、必要に応じ補修、業者手配を行う。	施設設備修繕箇所	箇所	27.00	36.00	31.00	25.00	25.00
	施設設備管理・保守点検業務委託件数	件	16.00	17.00	17.00	16.00	16.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
給食センター施設設備	施設稼働日数 (給食日数)	日	179.00	186.00	198.00	198.00	198.00
	給食センター職員	人	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
学校給食センター施設設備が正常に稼働することで、子供たちに安心安全な給食を提供することができる。	定められた時間までに給食を提供できなかった回数	回	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	施設設備の不具合で負傷等した人数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定総投入量
事業費の内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0		
	使用料・手数料	千円	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0		
	一般財源	千円	7,542	11,040	11,091		
	事業費計 (A)	千円	7,542	11,040	11,091		
	正規職員従事人数	人	6.00人	6.00人	6.00人		
03年度事業費 実績 (千円)				04年度事業費 予算 (千円)			
	10 需用費	4,396		10 需用費	3,890		
	11 役務費	369		11 役務費	370		
	12 委託料	5,813		12 委託料	6,710		
	14 工事請負費	462		14 工事請負費	121		
	合計		11,040	合計		11,091	

事務事業名	学校給食センター施設維持管理事業	事務事業No.	20101000399	所属課	桜川学校給食セン
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
学校給食センターが建設された平成25年より本事業を開始。給食を提供する施設であるという性質上、衛生管理や異物混入防止には細心の注意を払う必要があるため、必要な維持管理業務を実施している。現在、運営を開始してから数年のため、運営に大きな支障をきたすような不具合は発生していない。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
学校給食は、桜川市の未来を担う子供たちの健全育成に大いに役立つので、これからも安全安心な給食の提供のために施設設備の維持管理は徹底して欲しい。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市が給食を提供するには、その施設の維持管理は必要不可欠であることから、政策体系に結び付いている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 給食の提供を市が実施している以上、その施設の維持管理は市が実施すべきものであるから妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 給食提供時間の遅延や不具合による事故は発生しておらず、望ましい状況を維持しているため、成果を向上させる余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 給食の調理に支障が出たり、衛生管理がされないことによる食中毒等の事故が発生する等、本事業を廃止した場合多大なる影響が発生する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 限られた予算の中で有効な作業をしているため、現状において削減余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 本事業により安心安全な給食が提供できているため、公平・公正である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	施設・設備の必要な維持管理を行った。故障や不具合に起因する事故等は発生しておらず、安心安全な給食提供が維持できている。																		
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		○	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上維持		○	×																
	低下	×	×	×																
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>